

「箱庭カフェ」

地域共生のいえ憲章

ライター、取材記者から、ふとしたきっかけで、初期の児童英語界の講師になりました。

小学生英語から中学生、高校生、幼稚園生と対象年齢が広がり
経験を活かして教材の編集会議に関わるなど、
教材アドバイザーとして、国内外の出版社の仕事もしてきました。

英語の講師になったことをきっかけに
世界各国からやってくる留学生をホストファミリーとして長年受け入れてきました。

保護者の方々の、子育ての悩みなどにも耳を傾けてきました。
日本で子育てをしている国際結婚の母親には、
言葉のハンディ、日本の学校教育への疑問など、学習以外にもさまざまな悩みがあります。

多方面に渡り、人脈が豊富なのは自他共に認められ、特技は「橋渡し役」です。

英語教師向けのワークショップを企画開催したことから、また開いてくださいと言われたことも。

このような経験から「こんなことやってみたい！」との周りの声にも応え、
私だけでなくみなさんの経験と特技を活かせる場になるよう実現に向けていきたいと思えます。

国籍、年代、職業を超え、
参加者の皆さまが共に笑ったり、泣いたりできるスペースを目指します。

2020年2月

中川 裕子

「地域共生のいえ」とは、オーナー自らの意思により、営利を目的としない地域の公益的なまちづくり活動の場として、地域の絆を育み開放性のある活用がなされている私有の建物をいいます。一般財団法人世田谷トラストまちづくりは、平成30年度より「地域共生のいえづくり支援事業」の対象として、「箱庭カフェ」中川裕子さんを支援しました。この憲章は、「箱庭カフェ」の想いをわかりやすい形で伝えるために作成されたものです。この場が地域の皆さんに愛され、まちづくり活動の場として育っていくことを期待します。

